



2021年11月8日

各位

会社名 日東工業株式会社
 代表者名 取締役社長 黒野 透
 (コード 6651 東証・名証第1部)
 問合せ先 経理部長 仲 祐 治
 (TEL. 0561-62-3111)

2022年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期第2四半期の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異
 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり連結 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 61,300	百万円 2,900	百万円 3,000	百万円 1,800	円 銭 44.49
今回実績(B)	61,014	3,902	4,059	2,622	64.81
増減額(B-A)	△285	1,002	1,059	822	-
増減率(%)	△0.5	34.6	35.3	45.7	-
(参考)前期実績 (2021年3月期 第2四半期)	63,443	5,078	5,219	3,255	80.47

2. 差異の理由

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高は電子部品関連 製造事業において原材料の需給ひっ迫に伴う在庫積み増しを目的とした先行的な受注が増加したものの、電気・情報インフラ関連流通事業においてコロナ禍の影響による受注減少や案件延期などにより売上が減少した結果、期初予想を下回りました。各利益項目につきましては、電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業において市場価格悪化の影響が想定を下回ったことや、電子部品関連 製造事業における上記の理由に伴う限界利益の増加などにより、期初予想を大きく上回る結果となりました。

なお、連結・個別の通期業績予想につきましては、コロナ禍の影響が期初予想よりも軽微となる見込みであるものの、原材料価格等の高騰による影響を強く受ける見込みであることや部品・材料の調達難によるマイナス影響が懸念されることなどから、期初予想を据え置いております。

(注) 本資料に掲載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上